

平成18年7月11日

阪神電気鉄道株式会社

平成18年度から新型車両1000系を導入します

阪神電気鉄道(株)では、西大阪延伸線開業(平成21(2009)年春の予定)による近畿日本鉄道(株)との相互直通運転の実施に伴い、本年度から、新線及び近鉄線にも対応する車両として、急行系の新型車両1000系を新造します。

1000系車両は、昨春、開業100周年を迎えた当社が、次の新しい100年へのスタートという節目に最初に開発する車両であり、9300系(平成13~14年導入)まで重ねてきた車系番号を「1」から再スタートするという意味を込めて1000系としたもので、今年度10両を導入し、その後順次新造していく予定です。



【新型車両1000系の概要】

1 新造車両数

6両編成×1本、2両編成×2本 計10両

2 概 要

編成

- ・基本編成は、現在の急行系車両と同じ6両編成とし、ラッシュ時に対応するため、増結用の2両編成を導入します。これにより、2両編成2編成を増結することで最大10両編成となります。

車体

- ・従来のスポット溶接に比べて車体の溶接跡が目立たず仕上がりが美しい、ステンレス製レーザー溶接構体を採用します。また、環境にも配慮して車体外板を無塗装化します。
- ・車体正面にはフルカラーLED式の種別表示器、白色LED式行先表示器を採用します。また、車体側面には行先・種別一体の表示器を採用し、種別表示部分はフルカラーLED、行先表示部分は白色LEDとし、お客様に列車種別・行先を見やすく表示します。

保安装置

- ・列車無線、ATS装置、列車種別選別装置などの保安装置については、当社阪神線用の装置に加え、近鉄線乗入れに対応した機器も搭載します。

バリアフリー施設

お客様に快適にご乗車いただくために、安全面にも配慮した次のような設計としています。

- ・当社の最近の車両と同じく床面高さを1130mmとし、当社の車両の中で最低床とすることで、ホームとの段差に考慮しています。
- ・車内案内表示装置、扉開閉予告ブザーを設置するほか、扉開閉予告灯を新規に設置します。
- ・車いすスペースを全車両に設けます。

サービス施設

- ・座席は全車ロングシートとし、着座位置の目安となることや乗り心地でご好評をいただいているバケットタイプのシートを採用します。
- ・全車両に非常通話装置を設置します。なお、車いすスペース部については車いすをご利用のお客様にも扱いやすい高さとしします。

その他の装置

- ・ V V V F 制御装置、 S I V、ボルスタレス台車など、これまでの実績や信頼性を考慮し、省エネ性を有する機器を採用します。

ボディカラー

- ・ 1 0 0 0 系は西大阪延伸線対応の急行系新型車両となるもので、現在の急行系車両のベーシックカラーを引き継いだ「オレンジ系の新色」を車体前面及び側面（ドア部）に配しています。

以 上